

仕様書

技術戦略研究センター

1. 件名

AIに係る技術・研究の海外動向調査

2. 目的

日本では NEDO の人工知能関連プロジェクトをはじめとして人工知能（以下「AI」という。）に関する技術開発は着実に成果を上げてきている。他方、米中をはじめとした他国の技術開発やその技術の社会実装に比して遅れている部分もあり、また、量子コンピュータを用いた研究が急速に進展しつつあることから、今後AI分野における技術戦略を策定するにあたり、諸外国のAIに係る技術や研究の最新動向を把握することが必要である。そのため、米・中・EUを中心とした諸外国のAIに係る技術・研究等の現状について調査し、AI分野における技術戦略を策定するための基礎資料とすることを目的とする。

3. 内容

AI分野における技術戦略を策定するための基礎資料とするため、①「説明可能なAI技術」、「秘密計算」、「連合学習」などのAIの安全性・信頼性に係る技術分野、②「スモールデータ駆動」などの計算の精度・コストに係るデータの利活用技術分野及び③AIへの量子コンピュータの利活用に係る技術分野について、米国、中国、EU等（以下、「調査対象国等」という。）における以下の（1）～（4）の情報収集・調査及び分析を行う。

なお、調査内容の精度を確保するため、できる限り調査対象国等の公用語による情報に基づく調査を行うものとする。

- （1） 関連する最新の政策、標準化の動向
- （2） 主要な研究機関・企業及び研究者
それぞれの研究分野における直近5年間の動向
- （3） 調査対象分野に関する以下の現状
 - a. 市場規模
 - b. 実装状況
 - c. 応用分野
 - d. エコシステム
 - e. プレーヤー
 - f. アワード制度、ステージゲート制度などの公的資金による研究開発手法の事例
- （4） 今後10年間の市場予測

以上の取組で得られた情報を取りまとめ、我が国における A I 分野における技術戦略を策定するための基礎資料を得る。本調査においては、調査対象国等に関する各種政策、標準化動向等の収集・分析を行うとともに、文献調査、有識者へのヒアリング等により必要な情報収集、分析を行う。なお、調査する分野の具体的な対象技術群については、NEDO と協議の上決定するものとし、日本における上記調査項目の現状については、本調査において必要と認めるものについては、NEDO が保有する情報を可能な範囲で提供するものとする。また、NEDO は、可能な限り有識者ヒアリング等に参加する。

上記目的達成に向け、情報を補完する調査対象国等の対象及び調査項目を追加することは妨げない。その他、NEDO から要請があった場合は、協議の上、可能な限り反映する。

以上の実施内容について、NEDO 担当者に対し対面、オンライン又はメール等によりひと月に 2 回程度を基準として進捗報告を行う。

4. 調査期間

NEDO が指定する日から 2022 年 12 月 28 日まで

5. 予算額

2,000 万円以内

6. 報告書

提出期限：2022 年 12 月 28 日

提出方法：NEDO プロジェクトマネジメントシステムによる提出

記載内容：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って、作成の上、提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

補記事項：作成物、成果物の著作権、所有権等は NEDO に帰属する。

仕様がない事項又は仕様について生じた疑義については、協議して解決するものとする。

7. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

以上